



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月31日

上場会社名 高砂鐵工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5458 URL http://www.takasago-t.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大植 啓一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 畑田 正樹 TEL 03-5399-8111
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	5,564	8.0	271	△5.6	266	14.8	216	23.7
2018年3月期第2四半期	5,152	20.5	287	74.7	232	71.7	174	71.7

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 220百万円 (21.6%) 2018年3月期第2四半期 181百万円 (72.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	72.10	—
2018年3月期第2四半期	58.26	—

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	8,118	2,871	35.4	956.30
2018年3月期	8,228	2,710	32.9	902.86

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 2,871百万円 2018年3月期 2,710百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正につきましては、2018年10月31日発表の「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	4.4	560	0.7	540	8.2	430	6.1	143.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	3,008,000株	2018年3月期	3,008,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	5,553株	2018年3月期	5,521株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	3,002,465株	2018年3月期2Q	3,002,790株

当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調が続いております。しかしながら先行きには、米中間の貿易摩擦問題、英国のEU離脱問題、中国を始めアジア新興国等の景気回復動向などの主に海外経済における不確実性や、相次いでいる自然災害の経済に与える影響等が懸念され、不透明感が残っております。

鉄鋼業界におきましては、東京五輪や都市再開発関連での建設分野向けや、自動車をはじめとする製造業向けの鋼材需要が堅調に推移いたしました。

このような経済状況のもとで、当社グループは、激変する市場環境を勝ち抜き、事業の拡大・発展と強靱な企業体質を確立するため、鉄鋼製品事業でのみがき帯鋼およびステンレスの両分野において売上高を拡大し、収益力を高め、財務体質の強化を図る等、2018年～2020年度の中期計画を着実に実行してまいります。

主力のみがき帯鋼では自動車部品向け受注数量が引き続き順調に増加し、ステンレスにおいても加工品等は総じて底堅く推移し、また、子会社でのステンレス鋼材の卸販売も市況安定を受け好調に推移いたしました。コスト管理やコスト低減にも全社をあげて徹底的な取り組みを継続いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,564百万円（前年同期比8.0%増）と増収となり、利益につきましても営業利益は271百万円（前年同期比5.6%減）、経常利益は266百万円（前年同期比14.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は216百万円（前年同期比23.7%増）となりました。

なお、営業利益が前年同期比減少しているのは、前年同期において原料価格・製品価格がともに上昇した中で、原料価格の値上がり分の原価への反映が一部下半期以降となり、一時的に増益になっていたためです。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は8,118百万円となり、前連結会計年度末より110百万円減少いたしました。これは主に減価償却進捗により有形固定資産が減少したことによるものです。

負債総額は、5,246百万円となり、前連結会計年度末より270百万円減少いたしました。これは主に借入金と社債が減少したことによるものです。

純資産につきましては、2,871百万円となり前連結会計年度末より160百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、これまでのところ業績は計画に沿って順調に進捗しており、2018年5月11日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、2019年3月期の配当予想については、2018年10月31日の「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,256	1,236
受取手形及び売掛金	2,706	2,656
商品及び製品	690	685
仕掛品	304	365
原材料及び貯蔵品	430	474
その他	28	20
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	5,413	5,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	991	958
機械装置及び運搬具(純額)	1,290	1,192
土地	275	275
その他(純額)	22	25
有形固定資産合計	2,579	2,452
無形固定資産	44	42
投資その他の資産		
投資有価証券	22	21
繰延税金資産	121	122
その他	50	48
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	190	186
固定資産合計	2,814	2,682
資産合計	8,228	8,118

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,792	2,798
短期借入金	535	547
リース債務	33	26
未払法人税等	93	55
未払消費税等	35	28
賞与引当金	52	80
その他	551	575
流動負債合計	4,094	4,112
固定負債		
社債	125	—
長期借入金	112	—
リース債務	13	1
役員退職慰労引当金	128	106
退職給付に係る負債	924	907
資産除去債務	33	33
その他	85	85
固定負債合計	1,422	1,134
負債合計	5,517	5,246
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,504	1,504
利益剰余金	1,290	1,447
自己株式	△6	△6
株主資本合計	2,788	2,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	5
退職給付に係る調整累計額	△84	△79
その他の包括利益累計額合計	△77	△73
純資産合計	2,710	2,871
負債純資産合計	8,228	8,118

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	5,152	5,564
売上原価	4,356	4,777
売上総利益	795	787
販売費及び一般管理費	507	515
営業利益	287	271
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
業務受託料	1	1
仕入割引	1	1
受取保険料	—	1
環境対策費戻入益	—	3
その他	0	0
営業外収益合計	2	8
営業外費用		
支払利息	15	9
環境対策費	38	—
その他	4	4
営業外費用合計	58	13
経常利益	232	266
特別損失		
固定資産除却損	—	1
特別損失合計	—	1
税金等調整前四半期純利益	232	265
法人税、住民税及び事業税	64	48
法人税等調整額	△7	△0
法人税等合計	57	48
四半期純利益	174	216
親会社株主に帰属する四半期純利益	174	216

(四半期連結包括利益計算書)

(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2017年 4 月 1 日 至 2017年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 9 月 30 日)
四半期純利益	174	216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△0
退職給付に係る調整額	4	4
その他の包括利益合計	6	4
四半期包括利益	181	220
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	181	220

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。